



# CISJ NEWS

A Publication of the Clinical Implant Society of Japan

August 2014

## ご挨拶



一般社団法人  
日本インプラント臨床研究会  
会長  
田中 譲治

### ご挨拶

会員の皆様におかれましては、ますますご健勝にてご活躍のこととお慶び申し上げます。

平成26年6月1日に行われました総会および理事会にて一般社団法人日本インプラント臨床研究会会長という大役を仰せつかり、その責務の重大さに、改めて身の引き締まる思いを実感しております。歴代会長、そして、10年間の井汲会長が築きあげた当研究会の歴史と実力は、インプラント界のトップと言っても過言でないと考えております。その伝統をしっかりと引き継ぐとともに、さらなる発展のために精一杯取り組んでまいりたいと思っております。

現在、インプラントは優れた治療と認められておりますが、いわゆるインプラントブームは去り、インプラントを取り巻く環境は厳しい時代となってきていると思われまふ。しかし、逆を言えばこのような時代だからこそ、日々患者さんと向き合い“臨床”を最も大事にし、真にインプラントを見つめ探求し続ける当会がさらなる飛躍をすることで、インプラントを正しく国民に浸透させ、ひいては、健康長寿につながるものが明らかになりつつある歯科医療の向上に寄与できると考えております。

ここで会の方向を明確にするため3つのビジョンを下記のように考えさせて頂きました。

1. 会員の飛躍のためのさらなる充実
2. 歴史ある当会の伝統の継承
3. 日本のインプラントの発展に寄与

会員の忌憚のないご意見、ご指導のもと、会を盛り上げていきたいと思っております。

先日おこなわれました創立40周年記念大会および祝賀会においては、多方面よりお褒めの言葉を頂いており、特にジャパンセッション（全員発表研修会）では、著名な先生方からも感嘆の声を聞いております。また、記念誌『インプラントのための重要12キーワード・ベスト240論文』においても、インプラント関連書籍では前例のない1ヶ月で2,000部が完売し急遽増刷され、大変に好評を得ております。これらは先生方の努力とご協力の賜物と思ひます。会員一人一人の飛躍、そのことによる会のブランディング、そして会員の先生方が会員であることを誇りに思える、そのような研究会にしていければと考えております。

末筆となりましたが、浅学非才の私ですので、先生方のお力なしでは何もしえません。是非とも会員の先生方のご支援、ご協力を心よりお願い申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。